



1学期の折り返し地点

【校長 太田 謙二】

今年は、観測史上最速で、例年より約20日ほど早く近畿地方が梅雨入りしました。梅雨の由来は様々で、中国では、梅の実が熟す頃に降る雨という意味で「梅雨（ばいう）」という説などがあり、「梅雨」が日本で「つゆ」と呼ぶようになったのも、「露（つゆ）」から連想したなどいくつか説があるそうです。

さて、今日から6月。1学期もちょうど折り返し地点を迎えました。昨年この時期は、新型コロナウイルス感染症の影響で、やっと教育活動が再開された時期でした。あれから1年が経ちましたが、感染力の強い変異株の影響もあり、4月25日から大阪、兵庫、京都に緊急事態宣言が出され、その後延長や再延長されて、6月20日までとなりました。和歌山は、感染者数がかなり減少しましたが、依然不要不急の外出を控えるように要請されています。なかなか、先の見通しが立たない中ですが、感染症対策を徹底した上で、6月の参観・懇談など、教育活動を行っていきたいと考えています。



学校での教育活動にまだまだ制限がある中ですが、1年生はアサガオ。2年生はミニトマト。3年生以上も様々な野菜等を校内のいたる所で育てています。自然に興味を持ち、自分が大切に育てないとうまく育てないことなど責任感を学ぶ大切な学習だと思っています。花が咲いたり実ができたりした時の子供たちのうれしそうな笑顔が今から楽しみです。



また6月は、以前からお伝えしていた給食室の空調工事の関係で、6月7日～18日まで給食ができません。その間、代替昼食という形で行います。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

まだまだジメジメとする時期が続くと思いますが、子供たちが、楽しく、爽やかな気持ちで過ごせるよう今月も、教職員が一致団結して、取組を進めて行きたいと思っています。

子供たちが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、保護者の皆様、地域の皆様、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

